



和賀正義 議員  
(TSUNAGU)

**問** 介護保険は適正に使われているか

急に介護が必要となった場合、申請から認定までの期間は、どのくらいかかるのか。

要介護者がケアマネジャーを選べない現状で、質の向上や臨機応変な対応は、どのように確保されているのか。

**答** 要介護者に寄り添った介護運営に努める

申請から認定まで30日から60日を要している。ケアマネジャーには専門的知識やマネジメントスキルの継続的向上が求められることから、市では地域ケア会議等を活用して資質向上に努めるとともに、地域包括支援センターと連携を図り充実した支援を行っていく。

**問** 駅にデジタルサイネージを

昨今の地震、大雨などの自然災害の防止情報や、文化、サークル、イベントなどの市政情報について、リアルタイムで発信できるデジタルサイネージを利用者が多い駅に設置してみてもいいか。

**答** 民間事業者を活用し設置の可能性を探る

デジタルサイネージの設置には、資金、能力、技術を有する民間事業者のノウハウを活用することが適切と考えている。これまで複数の民間事業者に打診したが、安定した広告収入確保の課題から、設置には至っていない。引き続き、設置の可能性を探っていく。



デジタルサイネージの一例



野々口眞由美 議員  
(TSUNAGU)

**問** 飼い主不在で取り残されるペットの問題

高齢者等がペットと安心して暮らすには、飼い主が不在になった時のことを考えておく必要がある。野良猫になったり、殺処分と悲しい末路にならないよう飼い主の責任を軸としたチェックシートを導入し、問題になる前に未然に防ぐ対策を求めたいか。

**答** 飼育責任等の啓発を行う

チェックシートの活用により、高齢者等を支える側からの情報収集や飼育の相談先を周知することができ、飼い主不在によるペットの置き去りや多頭飼育による糞尿問題などの未然防止につながる。今後はボランティア団体等と連携し、飼育責任等の啓発を行う。

**問** さらに優しい窓口対応に向けて

マスク着用に加え、職員の声の大きさの違い、雑音により1階の窓口は、声が聞き取りづらいとの声が届いている。そこで、コミュニケーションを円滑にするため、指向型スピーカーを導入し、さらに市民に優しい窓口対応を求めたいか。

**答** 指向型スピーカーの導入を検討する

指向型のスピーカーは、窓口対応の向上という観点から効果が見込めるものと認識している。県内では、窓口での対話の聞き取りづらさを改善するため、入間市が3年4月から導入している。今後は、先進自治体を視察するなど、その導入について検討したい。

